

# 教員による不祥事防止対策及びコンプライアンス研修年間計画

【水戸市立下大野小学校】

校長：鈴木 浩志

## 基本指針を示すキーワード「たいせつです運動」

た：体罰はしません い：飲酒運転はしません せ：セクハラ、パワハラ、わいせつ行為はしません つ：使い込みはしません  
で：データ漏洩はしません す：スピード違反等の交通違反はしません・事故があったら適切な対応をします

対応策：以下の「計画的研修」「適宜研修」「個別の指導・助言」に複合的に取り組み、職員一人一人のコンプライアンスに関する「意識の醸成・意識の更新」に努めるとともに、「違和感の共有」かできる「風通しのよい職場環境づくり」を通して、「不祥事0」を実現する。

### 1 計画的研修

月	テーマ	概要
4月	スピード違反・交通事故について	一般道路や高速道路におけるスピード超過の規定と懲戒処分、事故発生時の適切な対応について考える。
5月	セクハラ・性犯罪等（盗撮含）について	事例をもとに、問題点を整理し、どのような責任に問われる可能性があるか考え、対応策を検討する。
6月	体罰の根絶について	日常の教育活動や運動会等での不適切な指導・体罰（力と恐怖による指導の不適切さ）について考える。
7月	飲酒運転について	酒席参加時の帰宅場面での危険性を考え、飲酒運転の撲滅をめざす。（翌朝の運転も含む。）
8月	ヒヤリハットの共有・未然防止と対応策	職員各々のヒヤリハット事例を共有し、不祥事を自分事として捉え、未然防止と対応策について協議する。
9月	金銭の取り扱いについて	金銭の不適切処理に関する事例をもとに事故発生が想定される場面を協議し、未然防止に努める。
10月	アンガーマネジメントについて	心理学における「怒り」のメカニズムから自分のタイプを掴み、対処法を考える。
11月	ジェンダー・ギャップについて	ジェンダー・ギャップ指数から日本の現状を掴み、自分や他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を養う。
12月	パワハラについて	上司と部下・同僚同士を含めた職場人間関係について、事例をもとに懲戒処分の規定を確認する。
1月	個人情報の取り扱いについて①	個人情報が流出した事例をもとに、紛失防止策について考える。
2月	著作権法について	著作権者について正しく理解し、適切な範囲で著作権物を活用できるようにする。
3月	個人情報の取り扱いについて②	個人情報の紛失・漏洩（データの持ち出し・メール等の誤送信・書類の誤処分等）の未然防止を図る。

※ 教職員のコンプライアンスに関する状況に応じて計画を変更する場合がある。

### 2 適宜研修

- 学校コンプライアンスに関する事故発生報道等をもとに、職員集会等でのタイムリーなミニ研修を行う。その際、単なる事例の紹介だけでなく、管理職としての見解やメッセージを添えたり、職員からの意見を吸い上げたりすることで、職員一人一人が自分事としてとらえられるようにする。

### 3 個別の指導・助言

- 職員一人一人の状況等に応じた個別の指導・助言を管理職が適宜行い、よりきめの細かいコンプライアンス意識の醸成に努める。